

# 事務事業評価資料

施策名	森林整備の担い手確保対策			所管部局課名	農政環境部農林水産局林務課				
事業名	森林技術者確保定着促進事業			担当者電話番号	林政係 内線 4 1 9 8				
事業目的	森林の持つ公益的機能の持続的な発揮を図るため、公益林整備を担う若年労働者を確保中核的な林業労働者として農山村地域への定住を促し、地域の活性化を目指す。								
事業内容	森林組合が労働者を月給制の森林技術者として確保するために必要な社会保障制度掛金等の事業主負担の一部の助成 補助対象者 兵庫県森林組合連合会 補助対象経費 月給制導入にあたり、事業主が負担する月給制労働者と日給制労働者の共済費等の差額(補助率1/3以内)				事業開始年度	平成4年度			
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額			
	事業費	(52,140 千円) 52,140 千円		(49,220 千円) 49,220 千円		(43,200 千円) 43,200 千円			
	人件費	8,471 千円	従事人員 1.0人	8,360 千円	従事人員 1.0人	8,204 千円	従事人員 1.0人		
	総コスト ( + )	60,611 千円	従事人員 1.0人	57,580 千円	従事人員 1.0人	51,404 千円	従事人員 1.0人		
事業の目標	月給制森林技術者の恒常的な確保			[目標設定理由] 公益林整備の現場では、高度な技術を持ち、臨時雇用者等を現場で指揮できる技術者が求められているため。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率 (%)		
		目標値	年度				H20	H21	H22
	月給制森林技術者数	240人	23	220人 (276 千円)	230人 (250 千円)	240人 (215 千円)	91.7	95.8	100.0
評価結果	必要性	・森林の公益的機能の発揮に大きな役割を果たす森林技術者の確保と定着を図るために、技術者の雇用環境の改善につながる月給制森林技術者を一定数確保し、定着させる必要がある。							
	有効性	・森林組合にとって大きな経済的負担となっている、月給制森林技者の確保に要する社会保障制度の掛金等を助成することで、事業開始の平成4年度(70人)から着実に増加し、定着が進んでいる。							
	効率性	・森林組合にとって大きな経済的負担となっている月給制森林技者の確保に要する社会保障制度の掛金等を助成対象とし、計画的に森林技術者の確保と定着を図っている。							
	民間・市町との役割分担	・事業主体(森林組合)は、森林整備の担い手である森林技術者を計画的に確保するとともに、県、市町は確保に要する社会保障制度掛金等の事業主負担の一部を助成する。							
	受益と負担の適正化	・月給制森林技術者の確保については、事業主体(森林組合)による取組も必要であることから、県・森林組合・市町で1/3ずつ負担している。							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し				
	実施手法の見直し内容	廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
説明	市町移譲 民間移譲 民間委託 PFI 負担割合変更 事務改善 その他								
説明	月給制森林技術者の確保・定着にあっては、なお事業主の負担は大きいものの、今後はさらに一経営体として主体的に雇用管理に取り組む環境づくりを図ることとし、継続して実施する。								